

博物館だより

M U S E U M



博物館 TEL 63-1122

えんきょうゆうこく

遠境幽谷の名湯『松川温泉』

◆江戸時代の絵図に描かれている松川温泉

寛保3(1743)年に高橋与次郎が開湯したのが始まりと伝えられている松川温泉は「遠境幽谷の名湯」といわれ、遠く離れた山深い土地であるため、名湯でありながら人々が訪れることはまれでした。慶応3(1867)年の『沼宮内通寄木村山絵図』には、現在の「松楓荘」がある場所に『湯坪』の文字と、湯けむりを上げている小屋が描かれています。青い岩手山と緑の山々の中にひっそりとたたずむ名湯を見ることができます。



沼宮内通寄木村山絵図
(松尾鉱山資料館蔵)

◆大正時代の案内書には効能が著しい温泉と紹介

開湯から約180年後の大正11(1922)年に、大更駅周辺を紹介する案内書『大更案内』が、花輪線開通を記念して発行されました。書内には「交通の便が悪くて知る人は少ないが、松川温泉には歴史があり、効能が著しい名湯である」と紹介されています。

紹介した『沼宮内通寄木村山絵図』や『大更案内』は、12月8日(日)まで開催中の企画展「松川温泉記」で、展示しています。ぜひ来館してご覧ください。

企画展「松川温泉記」関連イベント

『かつての遠境幽谷を巡る旅』を開催します

松川地熱発電所や松川渓谷玄武岩、八幡平山頂を巡り、紅葉を楽しむバスツアーです。 ※温泉入浴はありません。

■日時 10月24日(木)午前8時半から午後4時まで

■申込期限 10月14日(月・祝) ※要予約

■定員 30人(先着順)

■参加料 210円(入館料)

■その他 昼食(弁当600円)を希望する人は、予約時に申し込んでください。

図書館だより

L I B R A R Y



図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

◆落ち葉がはこんでくれたおはなし会

たくさんの本と触れ合い、読書に親しんでもらうことを目的に「落ち葉がはこんでくれたおはなし会」を開きます。

盛岡誠桜高校保育士専攻科「子ども未来学科」講師の附田清子さん(八幡平市在住)や同校学生ボランティアの皆さんと一緒に、絵本の読み聞かせや手遊び、親子で取り組む作品作りを楽しみましょう。申し込みは不要です。気軽に参加してください。

■日時 10月27日(日)午前11時から正午まで

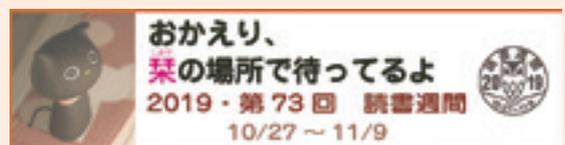
■参加料 無料



好きなフルーツのちぎり絵で
装飾した首飾り作り(H30)

◆第73回読書週間が始まります

読書の秋、図書館で新しい本と出会ってみませんか。



◆新着ピックアップ

『リアルサイズ古生物図鑑 中生代編』

著：土屋健ほか、出版社：技術評論社

サイズ感の分かりにくい古生物たちを、現代の身近な風景に配置させてみた図鑑です。

さまざまな古生物たちのサイズを直観的に感じることができる1冊です。

